

第2回CKD教室

- CKD(慢性腎臓病)患者数は国内に約2000万人(約6人に一人)いると推定されています。
- CKDは症状がないまま進行して末期腎不全に至り、人工透析や腎移植が必要となる病気です。
- CKDは心血管病の発症率を増加させ、“老化”を促進する可能性があります。人生100年時代、CKDの早期から対策を行うことが、寿命延伸のために重要です。

日時:令和7年3月1日土曜日 14:00~15:00

場所:昭和大学病院中央棟4階 カンファレンスルーム

14:00~14:35

■ 医師:CKDの進行と合併症

14:35~15:00

■ 管理栄養士:CKDの食事 -食塩制限とタンパク制限-

第2回CKD教室では、CKDが進行するとどうなるのか、CKDの進行を抑制する食事療法とはどんな内容か、などを中心にお話しします。CKDを知りたい方、eGFRが低いと言われた方、蛋白尿や血尿がある方、糖尿病や高血圧症の病歴が長い方、是非ご参加ください。

『CKD:慢性腎臓病』とは...

- ①尿に蛋白(蛋白尿)や血液(血尿)が混じる
 - ②腎臓の働きが正常の60%未満($eGFR < 60\text{mL}/\text{分}/1.73\text{m}^2$)
- 3ヶ月以上①や②を認める腎臓病の総称です



参加方法:上のQRコードを読み取ってご予約ください。
やむなく開催を中止する場合があります。
参加前に病院ホームページをご確認ください。